

五月十五日(火)〜十七日(木)
ご本山参拝旅行にご参加下さい

「花の御寺」として全国にその名を知られている、私たちの宗派のご本山『真言宗豊山派総本山長谷寺』は、奈良県桜井市初瀬にあります。
ご本尊は日本一大きい木造の「十一面観世音菩薩」様です。身の丈三丈三尺(約十メートル)のご本尊をおまつりする建物は大悲閣と呼ばれ、三代将軍家光によって建立された建物で、今は国宝に指定されています。

あの有名な京都の清水寺の舞台と同じ「舞台造」と呼ばれる構造ですが、清水の舞台と違って、舞台の前方には低い山しがなく、広々とした展望が楽しめます。また、京都や奈良の多くの寺院とは違って、豊山と呼ばれる山の斜面に、伽藍が配置されているので、寺の建物の配置も良く全山の伽藍配置を一望に見渡せるのも楽しみです。

常楽寺
だより
24.1.4

山門から、ご本尊をまつる大悲閣までの参拝路は、長い通路のすべてを登廊と呼ばれる建物で覆われていて、この屋根におおわれたゆつたりとした階段を登って、御本尊をお参りするの、大変風情があつて忘れがたい旅の良い思い出となることでしょう。

起伏豊かな境内には、寒牡丹を始め、山茶花、繡梅、レンギョウ、桜、ツツジ、牡丹、石楠花、アジサイ・ノウゼンカズラ、などなど、たくさん花花が、一年を通して咲き競い、秋の紅葉も、雪景色もまたみごとです。

特に、五月はじめの牡丹の季節は、「牡丹まつり」として、大変なごぎわいとなります。「牡丹まつり」の直後、静けさを取り戻した「ご本山」はお参りするには大変よい時です。この時期ご本山を尋ねてみませんか。(詳しくは別紙をご覧ください。)

常楽寺節分会にご参加

二月三日(金)午後二時より ください。

本年の節分会は、二月三日の金曜日となります。

例年のように午後二時から常楽寺の本堂で行います。楽しい福引も準備しています。子どもさんと一緒に家族揃ってお出かけ下さい。また、節分札や厄除護摩札を申し込まれる方は、寺の役員さんか、常楽寺へお申し込みください。

花の御寺
長谷寺の四季
真言宗豊山派総本山長谷寺

とき 平成24年3月19日(月)〜4月15日(日)
「午前9時〜午後5時迄」
ところ 太田市上田島町372 常楽寺境内
「うすさま明王堂」

『花の御寺』と呼ばれる、わたしたちのご本山、奈良県桜井市初瀬の、真言宗豊山派総本山『長谷寺の四季』を、写真家矢野建彦氏の撮影した十二枚の写真でご紹介します。

『ご本山 長谷寺』の四季折々の美しさを、是非ご覧下さい。

また、この時季は、常楽寺も春の花の美しい季節を迎えます。

どうぞお出かけください。

常楽寺住職 本城亮俊

花の御寺
長谷寺の美しさをご覧ください。

節分守護札

1000円

厄除護摩札福升付

5000円

男子厄年	四歳	二十五歳	四十二歳	六十一歳
女子厄年	四歳	十九歳	三十三歳	三十七歳
	六十一歳	常楽寺	Tel 三一一〇〇〇一	